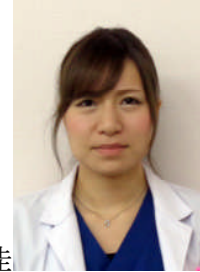


和歌山病院での実習を終えて



中西 靖佳

私は10月の1か月間、地域研修でお世話になりました。呼吸器内科の研修は今回が初めてだったので、大学ではあまり症例のない肺炎などの呼吸器感染症の診断・治療をしっかり学ぼうと思い和歌山病院を選びました。大学では、診断がついた患者が入院してきて、その患者を入院中に担当するという形になりますが、この1ヶ月は外来初診時から自分でみることができたので、患者の訴えを聞いて必要な検査をオーダーし、結果を見て鑑別診断を行い、最終的な診断をして適切な治療を考えるという、この先の臨床で絶対に必要となるプロセスを学ぶことができました。またその中で、外来診療に対する責任をとっても感じました。夜にふと、自分で診てその日に帰宅させた患者について考え、あれでよかったのだろうか心配になることもありましたが、とても荷が重く感じましたが、その時に学んだ知識はずっと忘れないと思います。また、入院患者を担当するにあたっては、自分で病状説明をしたり、治療方針を決定したりと積極的に治療に関わることができました。たった1ヶ月の研修でしたが、肺炎、肺結核、肺癌とたくさんの症例を経験することができ、非常に勉強になりました。また、空いた時間には呼吸器・乳腺外科の手術にも入れていただき、ありがとうございました。

最後になりましたが、院長先生をはじめ、呼吸内科、循環器内科、外科の先生方、病棟・外来の看護師さん、日ごろサポートしてくださった秘書さん、クラークさん、本当にお世話になりました。とても楽しい1ヶ月でした！ありがとうございました。